

柿 特報 No. 1

H 2 9 . 3 . 1 7

JA 中野市営農センター

JA 中野市柿研究会

園地の状況をよく確認し、病虫害の予防を意識した防除を実施しましょう。
また、SS 走行路の剪定枝を片づけ、安全に防除を行いましょう。

病虫害防除

◎発芽前の散布（3月下旬～4月上中旬）

* 他の園地や隣接するハウスビニールにかからないように散布する。

散 布 薬 剤	水	90ℓ当り	散布日 月 日	
	展着剤	10ml		散布量 ℓ
	石灰硫黄合剤	10ℓ		
対象病虫害	(黒星病、うどんこ病)、カイガラムシ類			
散 布 量	10a 当り 300ℓ * 若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。			
注 意 事 項	* カイガラムシ類の発生園 スプレーオイルの50倍（発芽前）を散布する。 * 散布ムラがあると防除効果が劣るので、樹全体に薬液が十分かかるように散布する。			

カイガラムシ類の防除を徹底してください！！

カイガラムシを放っておくと、ヘタの部分が汚れてしまい、干し柿の品質を著しく悪くします。（出荷できない場合があります。）
休眠期の防除が最も効果的ですので、今回の防除を徹底して行いましょう。



カイガラムシによるヘタの汚染

カイガラムシの被害が多発している場合は、担当技術員にご連絡ください。